

天目山栖雲寺

宝物風入れ展

◇◇◇虚空蔵菩薩画像(キリスト聖像)特別公開◇◇◇

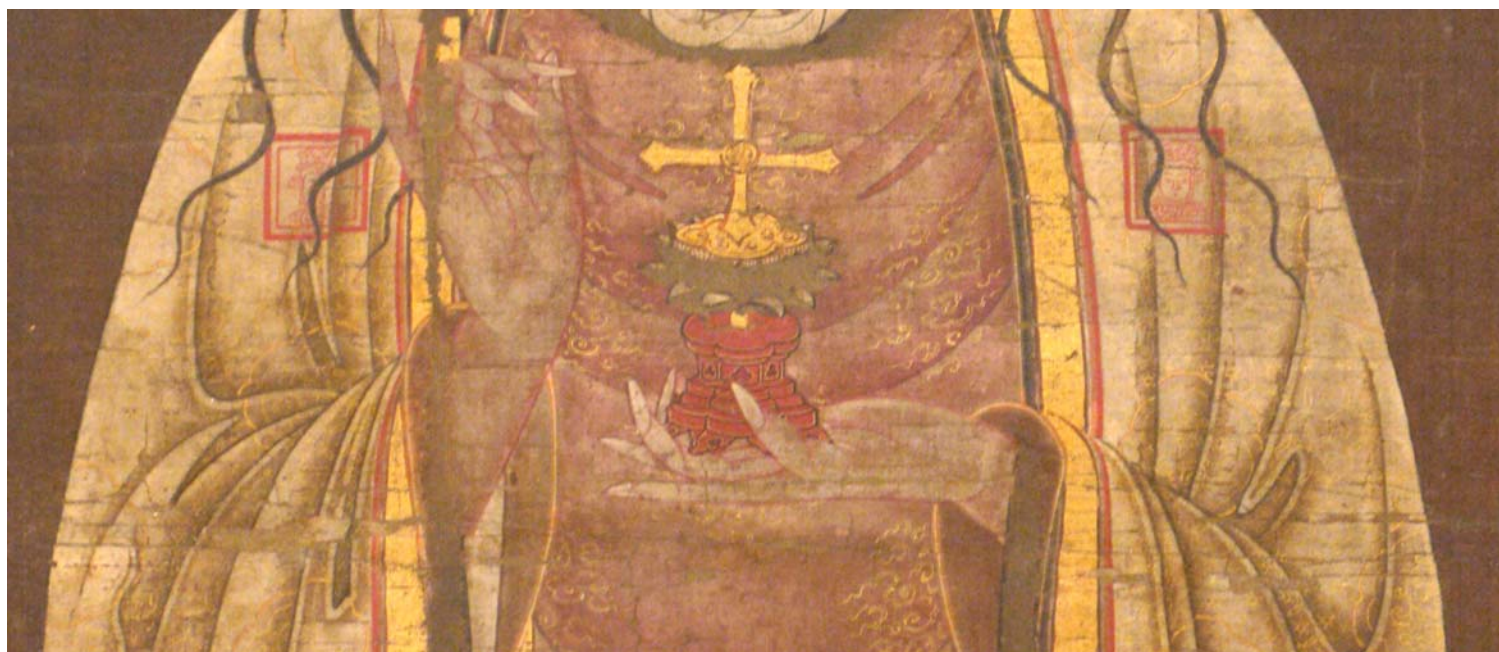
会期 平成23年10月29日(土)・30日(日) 午前9時から午後4時まで(29日)
午前9時から午後3時まで(30日)

会場 天目山栖雲寺 伝灯庵 ほか 山梨県甲州市大和村木賊122
<http://www.tenmokusan.or.jp>

観覧料 大人500円 学生300円 ※お抹茶の接待あります

昨年ニューヨーク・メトロポリタン美術館で展示された
虚空蔵菩薩画像をはじめ、寺宝を特別に公開いたします。

この機会にぜひご鑑賞いただき、
あわせて天目山の秋の景色をお楽しみください。



主催：天目山栖雲寺(☎0553-48-2797)・栖雲寺檀家総代会

後援：甲州市教育委員会

天目山栖雲寺 宝物風入れ展

《栖雲寺縁起》

栖雲寺の開創は貞和四年(一三四八)であるが、それより先、中国・元に渡った業海本浄は、杭州天目山幻住庵の普応国師(中峰明本)に参禅して帰朝し、諸国を教化遍歴ののち甲斐の木賊に至り、杭州天目山に酷似したこの地に寺を建立、天目山栖雲寺と名付けた。

同じく渡元し普応国師に師事した遠谿祖雄が開いた丹波佐治の瑞岩山高源寺(兵庫県)を「西天目」というのに対し、栖雲寺は「東天目」と呼称される。

出品目録

～寺宝一覧～

伝灯庵(宝物殿)展示

- 木造普応国師坐像(重要文化財・彫刻)
- 木造業海本浄坐像(県指定文化財・彫刻)
- 木造釈迦如来坐像(県指定文化財・彫刻)

展示室内展示

- 白紗地九条袈裟(県指定文化財・工芸品)
- 栖雲寺開山墓出土常滑甕(県指定文化財・考古資料)
- 虚空蔵菩薩画像(市指定文化財・絵画)
- 武田二十四将画像(市指定文化財・絵画)
- 摩利支天の画像(市指定文化財・絵画)
- 釈迦の涅槃図(市指定文化財・絵画)
- 信玄公軍配(市指定文化財・工芸品)
- 武田軍旗(市指定文化財・工芸品)
- 信玄公陣中鏡(市指定文化財・工芸品)
- 妙智鏡(市指定文化財・工芸品)
- 兔の文鎮(市指定文化財・工芸品)
- 水差し(市指定文化財・工芸品)
- 水晶大数珠(市指定文化財・工芸品)
- 龍鬚扨子(市指定文化財・工芸品)
- 天目茶碗(市指定文化財・工芸品)
- 七宝の香炉(市指定文化財・工芸品)
- 業海筆板木(市指定文化財・書跡)
- 業海の遺偈(市指定文化財・書跡)
- 天保年間の御札板木(市指定文化財・書跡)

屋外展示

- 栖雲寺庫裏(県指定文化財・建造物)
- 栖雲寺宝篋印塔(県指定文化財・建造物)
- 栖雲寺開山宝篋印塔(県指定文化財・建造物)
- 銅鐘(県指定文化財・工芸品)
- 地藏菩薩磨崖仏(県指定文化財・彫刻)
- 文殊菩薩磨崖仏(県指定文化財・彫刻)
- 栖雲寺庭園(県指定文化財・名勝)
- 栖雲寺本堂(市指定文化財・建造物)
- 武田信満の墓(市指定文化財・史跡)



重要文化財 木造普応国師坐像

業海の師である普応国師(中峰明本)は、中国元の時代の高僧で、この期のわが国の禅林に与えた影響は非常に大きかった。



県指定 栖雲寺宝篋印塔(手前) 栖雲寺開山宝篋印塔(奥)

栖雲寺宝篋印塔は銘により文和2年(1353)の制作で、みかげ石製で、山梨では珍しい関西様式を呈する。栖雲寺開山宝篋印塔は「開山業海浄禅師塔」の銘があり、業海禅師の供養塔としてしられる。